

こっこめ通信 04 2013

「大空に向かって」号



八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて「こっこめ」とよびます。

全国的に異例の早さで咲き始めたソメイヨシノ。八丈島でも例年より開花は早く、フリージアまつり開催日の3月20日でした。しかし、今年の花は期待はずれで、いつ満開になったのか分からないほど花が少なかったです。島のサクラ、オオシマザクラは綺麗に咲いてくれたので良かったです。4月7日まで八丈島では「フリージアまつり」が開催されています。今年は開催に合わせて色鮮やかなフリージアの花が開きました。一人20本まで球根ごと摘み取りができるので、花は今年、球根は来年と2度楽しめます。来られなかった方は、来年ぜひお越しください。

さて、今回は「遠い昔からの住人」「たからもの」を持って飛び立つ「この時期はイルカとクジラ」についてのお話です。

遠い昔からの島の住人

八丈島は火山の噴火によってできた島。本州などと陸続きになったことのない海洋島でもあります。そのため、歩いて移動するほ乳動物は島に渡ってくることはできませんでした。現在島にいるほ乳動物は、船で渡って来た人間、その人間の移動と共にやって来たネズミの仲間、ネズミを駆除するために人が放したイタチ、家畜から逃げ出してしまったノヤギ。そして、唯一自分の力で渡ってきたのがコウモリです。島で見られるコウモリは「コキクガシラコウモリ」の一種類だけです。キョン（小形のシカ）が野生でいると勘違いされている方が多いですが、八丈植物公園で飼われているだけです。



コキクガシラコウモリは、吻先から尾の付け根までが40mm前後ととても小さく、指と比べた写真（右中段）を見るとその大きさが分かります。下唇の切れ込みが3本あり（右上段）、4つに分かれているのも特徴の1つです。島では風穴や防空壕、三原山の要塞などをねぐらや冬眠場所とし、今回三原山で撮影したコウモリは、1つのねぐらの中に40頭近く休んでいました。写真には27頭のコウモリが写っています。撮影中には、おしっこをするコウモリもありました。（右下段）逆さの体勢から体を起こしてすると聞いていたので少しびっくりです。驚かせてしまったのでしょうか？

いつの時代から島にコキクガシラコウモリがいるのか分かりません。もしかして人が住むもっと前から棲んでいたのかもしれないね。

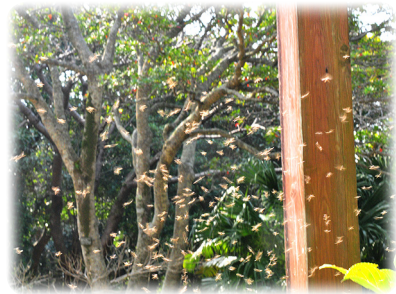


「アカコッコ」は日本固有のツグミ科の鳥で、国の天然記念物に指定されています。八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

「たからもの」を持って飛び立つ

3月の風のない暖かなある日、蚊柱のようになって飛んでいる虫がビジターセンターから見えました（写真右）。何の虫か気になって捕まえてみると小さなアリの仲間でした。アリは新しい女王アリとオスアリたちが巣から一斉に飛び立つ「結婚飛行」と呼ばれる行動を取ります。蚊柱のように見えたのは結婚飛行に飛び立ったアリたちだったのです。

結婚飛行を調べていると飛び立つ時にカイガラムシをくわえて飛び立つミツバアリという不思議なアリがいることを知りました。もしかして



アリノタカラカイガラムシをくわえた新女王アリ



ダンゴ状態になっている新女王アリ



アリノタカラカイガラムシ

と思い、地面に落ちた女王アリを撮影してみると口に1mmほどのカイガラムシをくわえていました。また、オスが群がりアリダンゴ状態！になっている女王アリの姿もありました。やはりミツバアリのようです。

ミツバアリは巣の中でカイガラムシを育てるかわりに、甘露をもらいます。この2種は互いの存在がなければ生きていくことができません。そのために、新しい女王アリは旅立つ時に大切に1匹のアリノタカラカイガラムシをくわえて飛び立つのです。写真右は落とされてしまったアリノタカラカイガラムシ。こうなったらもう生きていけず、落としてしまった女王アリも生きてはいけないようです。

今回は不思議な生態のアリを見つけたので紹介しました。ミツバアリとアリノタカラカイガラムシは、過去にビジターセンターでは記録が無く、初記録となっています。

この時期はイルカとクジラ

3月28日、島の西側でミナミハンドウイルカの姿が目撃されました。八丈島では、春になるとミナミハンドウイルカの群れが毎年のようにやってきます。今年の群れは20頭近くいるようで、島の沿岸を行ったり来たり餌を探しているのでしょうか？また、時には何分も姿が見えなくなることもありました。岸から遠い場所では肉眼では見えにくいですが、時々近くまで寄ってくることもあります。遠くても、双眼鏡があればハッキリと見えますよ。この時は、ジャンプもしてくれていたもので、望遠レンズで狙って撮影してみました。

実はミナミハンドウイルカだけではなく、ザトウクジラも島の回りに居着いているんです。話によると「1月頃、釣りをしていた時に姿を見た」とか、「ダイビング中に、鳴き声が聞こえ、陸からはブローやテールが見えた」という話も聞いています。ミナミハンドウイルカを見ていた時も何度か姿を現してくれました。

どうやら、八丈島が気に入って長期滞在しているようなので、静かな日はのんびりと海を眺めて、イルカ・ホエールウォッチングを試みるのも良いかもしれませんね。持っていれば、双眼鏡をお忘れなく！



ミナミハンドウイルカ



ミナミハンドウイルカ



ザトウクジラ

八丈植物公園季節調査会の報告

八丈ビジターセンターでは、毎月第二日曜日に、植物公園の生きもので季節を感じようという趣旨で、「八丈植物公園季節調査会」を開催しています。毎回見られる植物がどのように変化していくか、また、どんな鳥や植物が見られるかも観察しています。今回は3月10日に行いました。

八丈植物公園季節調査（平成25年第3回）参加者・沖山，黒田，茂手木，寺尾，小林，金田，VC 菊池

NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態
草本			木本		
1	アオノクマタケラン	去年の実	1	アカメガシワ	赤い新芽
2	アシタバ	実	2	イヌビワ	実
3	アツバスミレ	花	3	オオシマザクラ	花
4	イワニガナ	花	4	オオバヤシャブシ	花
5	ウスベニニガナ	花と実	5	カジイチゴ	花
6	ウラシマソウ	花	6	クワ SP.	蕾
7	オオアレチノギク	花	7	ハチジョウキブシ	花
8	オオイヌノフグリ	花	8	ヒサカキ	花
9	オオシマカンスゲ	実	9	マンリョウ	去年の実
10	オオバコ	蕾	10	メダケ	花、切り株から
11	オニタビラコ	花	11	モチノキ	花
12	オランダミミナグサ	花	12	ヤツデ	実
13	カスマグサ	花	13	ヤブツバキ	花
14	カタバミ	花と実	14	ヤマモモ	花
15	キュウリグサ	花	シダ植物		
16	キランソウ	花			
17	コスミレ	花	1	アラゲヒメワラビ	
18	コナスビ	花	2	イシカグマ	
19	シチトウスミレ	花	3	オオイタチシダ	
20	スズメノカタビラ	花	4	オオタニワタリ	
21	スズメノヤリ	花	5	オニヤブソテツ	
22	タネツケバナ	花と実	6	スギナ	ツクシ
23	ツメクサ	花	7	タチクラマゴケ	紅葉と新葉
24	ツワブキ	実	8	タチシノブ	
25	トキワハゼ	花	9	タマシダ	
26	ナズナ	花と実	10	ナチシケシダ	
27	ノミノフスマ	花	11	ノキシノブ	
28	ハキダメギク	花	12	ハチジョウカナワラビ	
29	ハチジョウテンナンショウ	花、咲き始め	13	ハチジョウシダ	
30	ハナイバナ	花	14	ハチジョウベニシダ	
31	ハハコグサ	花	15	ヒトツバ	
32	ハルジオン	花	16	ホシダ	
33	ヒナギキョウ	花	17	ホラシノブ	
34	ヒメオドリコソウ	花	18	マツバラソ	孢子嚢
35	フウトウカズラ	実と花	19	ミゾシダ	
36	ヘビイチゴ	花	20	ヤマイトチシダ	
37	マメカミツレ	花と実	21	ワラビ	新芽
38	ムラサキカタバミ	花			

今回は、シダ植物 21 種を含む 73 種の植物を観察しました。雌雄異株の植物については雄株と雌株を探し、ハチジョウキブシ、モチノキ、ヒサカキ、ヤマモモの雄花と雌花を確認しました。

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、今年は元気に渡ってきた「ツバメ」にスポットを当ててみたいと思います。



ツバメ

Hirundo rustica gutturalis

スズメ目ツバメ科の鳥。九州以北に夏鳥として渡ってきます。

八丈島には3月上旬から中旬に渡ってきます。少し休んでまた北上してしまいましたが、稀に島の中でも繁殖します。その昔、島の中に水田がたくさんあった頃は、巣を作っていたそうです。

秋の渡りは9月頃から始まり、幼鳥の姿も見られます。

2013 八丈ビジターセンター 4 プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島（神湊）の潮の満ち引きの時刻です。
左側が満潮時刻、右側が干潮時刻です。また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	清明 5	6 ガイドウォーク
	07 : 24 01 : 44 21 : 34 14 : 25	07 : 58 02 : 26 22 : 59 15 : 23	03 : 26 08 : 43 16 : 40	00 : 50 05 : 31 10 : 12 18 : 17	02 : 08 07 : 46 12 : 46 19 : 44	02 : 53 08 : 48 14 : 21 20 : 47
7 ガイドウォーク	8	9	10	11	12	13 ガイドウォーク
03 : 27 09 : 28 15 : 23 21 : 34	03 : 56 10 : 03 16 : 12 22 : 12	04 : 22 10 : 35 16 : 54 22 : 46	04 : 48 11 : 05 17 : 33 23 : 18	05 : 12 11 : 36 18 : 09 23 : 47	05 : 37 12 : 06 18 : 44	06 : 02 00 : 16 19 : 19 12 : 38
14 ガイドウォーク 「植物公園 季節調査会」	15	16	17	18	19	20 豪雨 ガイドウォーク
06 : 27 00 : 43 19 : 56 13 : 11	06 : 53 01 : 12 20 : 35 13 : 46	07 : 20 01 : 41 21 : 22 14 : 25	07 : 49 02 : 17 22 : 24 15 : 11	08 : 25 03 : 09 23 : 51 16 : 13	09 : 41 05 : 03 17 : 34	01 : 15 07 : 26 12 : 20 18 : 58
21 ガイドウォーク	22	23	24	25	26	27 「さえずりを聞き分けよう」 「バードウォッチング入門」 「体験八丈太鼓」
02 : 06 08 : 24 13 : 57 20 : 05	02 : 43 09 : 01 14 : 59 20 : 57	03 : 15 09 : 35 15 : 49 21 : 41	03 : 46 10 : 09 16 : 36 22 : 22	04 : 16 10 : 44 17 : 22 23 : 01	04 : 47 11 : 21 18 : 08 23 : 40	05 : 19 12 : 00 18 : 55
28 「バードウォッチング入門」 「体験八丈太鼓」	29 「八丈富士ハイキング」 「バードウォッチング入門」 「体験八丈太鼓」	30				
05 : 53 00 : 18 19 : 44 12 : 41	06 : 28 00 : 58 20 : 36 13 : 25	07 : 06 01 : 41 21 : 34 14 : 13				

イベントプログラム

植物公園季節調査会

植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を一緒に感じましょう！

4 / 14 (13 : 30 ~ 約1時間半)

中学生以上 ビジターセンター集合・解散 無料 定員：15名

八丈学講座

「さえずりを聞き分けよう」

毎月行っている八丈学講座。ホテル水路周辺で島ならではの鳥のさえずりを聞き分けましょう！

4 / 27 (13 : 30 ~ 約1時間半)

中学生以上 鴨川ホテル水路集合・解散 参加費：50円 定員：15名

GW特別行事

「八丈富士ハイキング」

毎年恒例の八丈富士ハイキング！1280段の階段を登り終えた後に見えるのは…

4 / 29 (9 : 30 ~ 約6時間)

八丈富士鉢巻き道路登山口集合・解散 小雨決行

小学生以上 (低学年は保護者同伴) 参加費：50円 定員：20名

GW特別行事

「バードウォッチング入門」

公園内でのバードウォッチングの入門編、双眼鏡で「アカコッコ」を探しましょう！

4 / 27 ~ 4 / 29 (10 : 00 ~ 約1時間半)

だれでも ビジターセンター集合・解散 無料 定員：10名 雨天中止

GW特別行事

「体験八丈太鼓」

両面から打つ、島の太鼓を体験してみませんか？日頃のストレスを発散できますよ！

4 / 27 ~ 4 / 29 (13 : 30 ~ 随時)

だれでも ビジターセンター入口にて 無料 雨天中止

ビデオプログラム

10 : 00 ~ 八丈・海・生きものたち

11 : 00 ~ おじゃりやれ 八丈島

14 : 00 ~ おじゃりやれ 八丈島

15 : 00 ~ おじゃりやれ 八丈島

16 : 00 ~ 八丈・海・生きものたち

上記以外での上映は予約にて可能です

東京都八丈ビジターセンター 2013.4.1 第143号

開館時間 9 : 00 ~ 16 : 45 年中無休 (入場無料)

〒100-1401

東京都八丈島八丈町大賀郷2843

電話：04996-2-4811 Fax：04996-2-4888

編集後記

冬の時期は繁殖のために沖縄や小笠原など低緯度に南下するはずのザトウクジラ。伊豆諸島周辺海域でも毎年のように見られるようになったのは、個体数が増えてきているから？繁殖に参加しない個体？どちらにしても八丈島で毎年必ず見られるようになるとすごくうれしいですね。(高)